-令和７年３月
校長決定

令和６年度　東京都立練馬特別支援学校　学校経営報告

Ⅰ　今年度の重点目標と方策の結果

１　人権を尊重した教育の充実

人格を否定する乱暴な態度・言葉、追い込む指導等の不適切な指導の徹底的な排除のため、様々な機会を捉え、教職員への指導や注意喚起を行った。また、いじめ防止基本計画に基づく指導の徹底を図った。生徒の自己肯定感を育む教育の推進を図り、昨年度より4.6 ポイント増の 87 点となり、目標を上回る結果となった。継続して生徒及び保護者に実感をもってもらえる取り組みの改善を図っていく。

２　自立と社会参加に向けた指導の充実と分かりやすい授業の推進

キャリア・パスポートを活用した取り組みは２年目であり、教員、保護者ともに学校評価でのポイントは微増であった。本校のキャリア教育の更なる充実を図っていく。

授業力向上に向け、教諭・主任教諭全員が授業公開を行った。授業公開において、スマート・スクール端末を活用した授業公開や作業学習の改善を進めた。しかし、教員用の iPad の納入が１２月となったため、スマート・スクール端末の活用をしにくい状況となってしまった。保護者アンケートの数値としては、昨年度よりも微増であるが、目標値には届かなかった。今後より活用を促進するため、年度当初の研修等準備を進めている。

新学習指導要領を踏まえた指導の充実では、普通科の各教科について学習指導要領に対応した「単元と指導内容の対応表」を作成し、これを基にした予算編成と、令和７年度の年間指導計画を作成することができた。次年度以降の活用を進めていく。

職能開発科については、設置１年目であり、昨年度準備した教育課程を実践し、特別専門講師による専門教科の指導内容の充実等を図ることができた。次年度２学年になった場合の教育課程についても準備を進めることができた。

３　地域や関係諸機関との連携と開かれた学校づくりの推進

今年度から X（旧 Twitter）による外部への情報発信を開始した。また、東京都の保護者等とのコミュニケーションツールである Classi の使用を開始した。保護者からはもう少し情報発信の頻度を高めてほしいという要望もある。教員の業務負担を増やさない範囲で充実を図っていく。

都立高等学校との連携では、エリアネットワークの年間２回程度の訪問等による支援が定着してきた。都立大泉高等学校・大泉高等学校附属中学校の吹奏楽部との音楽交流会では、吹奏楽部員からの提案で、学年ごとに楽器の説明を行うなど生徒同士の直接的な交

流を進めることができた。

区教育委員会や地域の中学校との連携を推進し、上級学校訪問等の依頼が増加した。本校職能開発科への関心も高まり、今年度は職能開発科の応募倍率が昨年度の 1.0 倍から 1.6 倍と増加した。

４　安全・安心な教育環境、施設設備の整備充実

昨年度天候等の関係で実施できなかった地域と連携した防災訓練は今年度実施することができた。医療的ケアについては安全に実施できている。アレルギー事故防止については宿泊行事等の通常と異なる状況でのヒヤリハット事例があった。事故防止対応の更なる充実につなげていく。

昨年度複数発生した体育やスポーツ部での骨折等の事故については今年度は大きく減少した。指導内容の更なる改善・充実を図っていく。

５　体力の向上及び芸術文化関係の指導の充実

４年ぶりに体育祭を実施することができた。ボッチャなどの障害者スポーツを取り入れた体育的活動の充実を図った。

５年ぶりに文化祭を実施し、生徒は多くの人の前で発表することができた。東京都アートプロジェクト展等の文化・芸術的な取り組みへの積極的に申込み、アートプロジェクト展については本校から昨年度を上回る５名の生徒が選抜され出典した。

６　教職員がチームとして力を発揮できる組織運営と教員の働き方改革の推進

職員室のリニューアルを令和５年度末に実施した。一人一人の机は小さくなったが、様々な使い方ができる共有スペースがよく活用されており、また現在はまだ席数に余裕があることから外部専門家等の執務スペースも確保できており、全体的には円滑な業務遂行ができている。会議の円滑な進行及び会議時間の厳守についても定着してきている。年度当初に各分掌の業務について確認する時間を設定するなど、進行管理について改善を図り、業務の遅滞等が減少した。

Ⅱ　重点目標と方策（数値目標）

項目	内容	数値目標	結果
１　人権を尊重した教育の充実	人権教育に関する研修会の実施	年２回以上	３回実施
	生徒の人権に配慮した指導の実施	85 点以上(※1)	87 点
	生徒アンケート及び聞き取り調査によるいじめの実態把握	年３回以上	100%

2　自立と社会参加に向けた指導の充実と分かりやすい授業の推進	生徒一人一人に応じた指導の実施	85 点以上(※2)	81 点
	アセスメントを活用した個別移行支援計画の作成	100%	100%
	普通科「単元と指導内容の対応表」の作成	11 月を目途に完成	1 月末に完成
	次年度の年間指導計画（案）の作成	2 月を目途に完成	3 月に完成
	主任教諭・教諭の年 1 回の授業公開 ※次のいずれかの授業での実施 ・「働くための態度」を育成する作業学習の改善 ・スマート・スクール端末を活用した各教科の学習	100%	100%
	生徒の希望進路の実現	100%	100%
	産業現場等における実習が可能な新規企業の開拓	10 社以上	28 社 （事務 11 ロジ 6 清掃 8 食品 3 ）
3　地域や関係諸機関との連携と開かれた学校づくりの推進	X（旧 Twitter）及びウェブサイトによる情報発信	X：年間 70 回以上 合計：250 回以上	X：113 回 HP：240 回
	地域中学校向け進路指導研修会の実施	年間 1 回以上	3 回
	都立高等学校(地域指定校)と連携した研修会の実施	年間 1 回以上	2 回(地区情報交換会)
	都立高等学校(地域指定校)への訪問等の実施	各校年間 2 回以上	計 26 回
4　安全・安心な教育環境、施設設備の整備充実	教員相互による教室環境の点検及び整備の徹底	月 1 回点検の実施	実施
	ヒヤリハット事例による事故防止研修の実施	年 3 回以上	3 回実施
	校内規程等の遵守による事故未然防止の徹底	重大事故ゼロ	重大事故なし
5　体力の向上及び芸術文化関係の指導の充実	障害者スポーツ大会等への参加	4 大会以上	5 大会
	東京アートプロジェクトへの作品出典	10 作品以上	51 作品
	対象生徒の部活動参加率の向上	50%以上	63.7%
	外部指導員による指導の充実	年間 35 時間以上	100%
6　教職員がチームとして力を発揮できる組織運	本校既定のクリーンデスク達成率の向上	100%	100%
	定時退庁日の設定と退庁日の勤務時間内退勤の徹底	超過勤務月 45 時間超の教員 20%以	月平均 18.4%

営と教員の働き方改革の推進		下	
	自立経営推進予算のセンター執行率の向上	65%以上	46.8%

※1 保護者アンケート：「生徒の人権に配慮し、一人一人を大切に、丁寧な指導が行われている」の項目の点数化による平均値

※2 保護者アンケート：「各教科の学習は、一人一人の障害特性に応じた指導が行われている」「日常の生活において、アセスメント結果を活用した指導が行われている」の項目の点数化による平均値